

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（福祉職）インタビューをお届けします！

9月に第一次試験を行った職種の皆さんにとっては初配信となりますね！

入庁までの間に役立つ情報をお届けしていきますので、ぜひ最後までご覧ください！

※仙台市ホームページにて、今まで配信したメールマガジンのバックナンバーを掲載していません。9月に第一次試験を行った職種の皆さんにも役に立つ「よくある質問」も掲載していますので、ぜひご覧ください。

https://www.city.sendai.jp/ninyo/maimaga_backnum.html

.....
今回は、宮城野区保護課の寺澤 孟哉さん（福祉職入庁3年目、在課3年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

Q1. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

職員数は58名です。正職員のケースワーカーは37名で、そのうち福祉職は8名在籍しています。その他に、査察指導員、就労支援員、医療担当、金品担当、警察OB等の職員が在籍しています。

Q2. 現在携わっている事業（業務）の内容を教えてください。

生活保護のケースワーカーとして、担当している被保護世帯（約110世帯）の生活・就労支援、指導等のケースワークや生活保護費算定を行っています。また、他の部署や関係機関と関わる機会が多く、被保護世帯の課題改善に向け支援者会議を行うこともあります。

Q3. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

- 8:30～8:40 一日の流れを確認
- 8:45～10:30 事務作業（起案文書作成、訪問記録作成等）、電話対応、窓口対応
- 11:00～12:00 支援者会議（外部）
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～13:30 訪問準備
- 13:30～16:00 家庭訪問（3～4件）
- 16:00～17:15 事務作業（訪問記録作成等）、電話対応、窓口対応

Q 4. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

被保護者が就職により生活保護から自立した時や、関係機関等との連携により必要な医療・支援に繋がった時にやりがいを感じます。生活課題は多様で早期解決が難しいことも多いですが、その分生活が好転する場面を間近で見られた時のやりがいは大きいです。

Q 5. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

入庁後2カ月間は、面接担当の係に配属されていたので、新たに生活保護の申請を検討している方との面接業務に従事していました。最初の2週間程度は先輩職員の面接に同席し、制度内容や説明の仕方を学ぶ日々でした。面接がない時間には、面接記録の作成や、申請者への必要書類の提出依頼といった簡易な内容の電話かけを行いました。

Q 6. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

一番驚いた点は、相談しやすい職場環境であることです。業務多忙のなかでも親身に相談に乗ってくれる職員が多く、職場全体で助け合う雰囲気があります。

Q 7. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいこと、やっておけばよかったと思うことはありますか。

働きながら採用試験を受験し、入庁する直前まで仕事を続けていました。福祉職採用で生活保護業務に携わる可能性が高いと思っていたため、休日時間のある日には、ケースワークに関する本を読み、働くイメージを膨らませていました。

Q 8. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます。福祉職は人の人生に関わる仕事が多いです。さまざまな困難に直面することがありますが、その分やりがいを感じる瞬間があります。皆様と一緒に働くことが出来る日を心待ちにしております。仙台市民のために一緒に頑張りましょう。

.....
※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。